



Network



小笠原幸幸、
 株式会社、
 塚田泰代、
 所、原田あつ
 山本博美、

〒760-0055 香川県高松市観光通 1-1-18 TEL&FAX 087-861-9928
✉ jimukyoku2hand@yahoo.co.jp <http://2nd-hand.main.jp/sh/>

Sambot

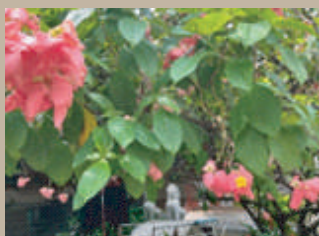
セカンドハンド通信

122



Special Thanks

カンボジア 渡航報告



新校舎が完成したトムポー小学校を訪問しました。新校舎は、3つの教室で6クラスの子どもたちが学べます。(午前午後の二部制)
夏休み中にも関わらず、校長先生や子どもたち、地域のお母さんたちが、私たちを笑顔で迎えてくれました。



子どもたちとの交流では、覚えてくれた日本語の「こんにちは」から始まり、好きな科目や将来の夢について話をした後、セカンドハンドから、ボールペンを贈りました。
皆さまのご協力により完成した新校舎のもと、今後もより多くの子どもたちが勉学に励んでくれることを期待しています。

私は植樹に行こうとして、ぬかるんだ土に滑って派手に転んでしまいました。そこに素早く駆けつけてくれたのは、地域の人達でした。特に、お母さん達数人は、すぐに椅子を用意してくれて、首や肩、腕をさすってくれ、タイガーバームを塗ってくれました。お母さん達のあたたかい手を感じながら、この地域には優しい助け合いの精神が根付いていると実感した出来事でした。(舟越)

エピソード



ホームランドでは、最初に子どもたちの身長と体重を測定し、現地スタッフが一人ひとり問診して健康をチェックしました。どの子も健康状態に問題はなく順調に成長している様子が見え、うかがえました。
その後は子どもたちの家族も加わり、ビンゴゲーム、じゃんけん大会などで盛り上がりました。



ホームランド訪問前日に、子どもたちの世話をしているサムオンとともに家庭訪問を行いました。訪問したのは、4家族。暮らしぶりや、食事、子どもの将来のことなどについて、子どもたちとその家族と話し合いました。4家族とも深刻な状況ではないものの、支援を続けていく必要性を感じました。(鈴木)



before

after

エピソード

6年ぶりの再会(9月7日)
私の里子だったPhy君が会いに来てくれました。6年ぶりでしたが、すっかり容姿が変わっていて、私は最初Phy君だと気づきませんでした。会社勤めをしていて、兄弟を養っていると聞きひと安心。今の自分があるのはセカンドハンドのおかげと何度も感謝されました。これからも頑張れ、Phy君!!?(堀)